

令和6年度 第1回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：令和6年（2024年）6月25日（火）14:00～15:00

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：青木 修、大月よし子、小出清美、千野美奈、柴田さほり各委員
山田教育長、田中文化振興部長、事務局4名

進 行：田中部長

1 開 会

（部 長）令和6年度、第1回運営協議会を開会します。

2 辞令交付 山田教育長より各委員へ

3 あいさつ

（教育長）学校においては教科学習や総合的な学習等でふるさと館を利用し学習を進めている。昨年度は、「改訂版 飯山市の文化財」の発行もあるなど、新たな取り組みの成果もある。また、セカンドスクールとして市外からも多くの生徒さんが訪れており、春夏秋冬の企画展や学びのエリア秋まつりの開催等、人々の学習の場にもなっている。ふるさと学習が市民に定着し、特に学校では地域を学ぶ取り組みが以前より増えている。城北小学校が令和7年に開校することを踏まえ、小中連携のプログラムを持ちながら、地域の皆さんへふるさと飯山の良さを知ってもらい広げていけるような取り組みを推進していきたい。

4 自己紹介

5 会長及び職務代理者の互選

会長 青木 修 職務代理者 大月よし子

6 協議事項（進行：青木会長）

① 令和5年度事業報告

（事務局）資料に基づき説明

（進 行）質問等ありますか。

（会 長）セカンドスクールはどこから来ている？

（事務局）横浜方面が多い。農業体験に来飯するが、悪天候の際に来ることも多い。

（会 長）大学生も来る？

（事務局）長野県立大学の学生達が、調査等で来館した。

（会 長）セカンドスクールは定期的？

（事務局）定期的。5月6月と9月10月が多く見える。

（部 長）今年3月3日、「イングリッシュでひな祭り」を開催した。ふるさと館及び

本町商店街にひな人形が展示され、飯山駅の外国人旅行客に街中を滞留してもらいたいと企画したが、参加者 40 人と、思ったより来なかった。外国人旅行者の傾向として興味がなかったのか、何かヒントがあれば教えてほしい。

(柴田委員) 冬場、外国人が泊まる民宿より、「悪天候でスキーが滑れないとき何かできることはないか」という問い合わせが多い。ピンポイントの日より 1~2 月の外国人の多い期間に「いつでもできるよ」というものがあると案内しやすい。本日午前中、カナダ政府マーケティング担当者と来館した。彼女は以前にもプライベートで飯山にお越しになりふるさと館を大変気に入っていた。彼女は、「ここには外国人が喜ぶものがいっぱいある。それを整え、例えば「ふんごみ、はいて歩いてみよう」「みのかぶって写真を撮ろう」等ができるととてもいいと言っていた。課題はあると思うが、海外の方がときめくものが多い場所なのは確か。

(委 員) 「イングリッシュでひなまつり」は市民向け？外国人向け？

(事務局) どなたでも OK だった。

(会 長) 飯山在住の外国の方々の様子は？

(柴田委員) 市内に住む外国人が増えている。観光業や自営業。特に観光業の方はご自身も興味を持っているので、観光局主催の「正受庵学習会」などへ積極的に参加する。

(会 長) ふらっと外国人の来館も？

(事務局) 一人旅の外国の人がたまに来る。

(会 長) 私の勤務地の秋津に最近 2 件家を買った外国人がいる。

(委 員) 斑尾のように投資として購入したり、戸狩などでも購入がみられるようだ。

② 令和 6 年度ふるさと館運営・活動方針及び事業計画について

(事務局) 資料に基づき説明

(進 行) 皆さんご意見を。

(千野委員) 泉台小では、クラブの外部講師で来てもらっている。学習目的の来館と館職員が出張する場合とがあるが、現場としては来館のほうが望ましい？

(柴田委員) 観光局も一緒に何かやれたらと思うが、現場の状況的に無理なことをすすめるのは、はばかれる。こういった形が一番いいのか。

(館 長) 基本的には郷土に関する資料を収集・調査研究し、展示することがふるさと館の役割だが、大勢来ていただくような仕掛けも必要。市内の学校は遠く、1 時限は 45 分しかないので移動だけで終わってしまう場合はこちらから資料を持って伺いますよということで出張講座を設けている。それとは別に学芸員に対し派遣申請を出してもらう場合は出張講座というよりも職員の派遣なので、それはふるさと館の事業とは少し別かなと思う。ただ、ふるさと学習の施設と言いながらも、飯山市を情報発信するための施設でもあるので、観光局等の要望にはしっかり応えたい。

(部 長) 今年度の文化振興部の目標に「文化・芸術と観光を掛け合わせ、次なるものを目指していこう」というものがある。ふるさと館で対応できなくても、美術館や図書館・公民館で対応できることもあるのでご相談ください。

(進 行) 他にありますか。

(会 長) 入館者数、9月がずいぶん増えているが？

(事務局) 「学びのエリア秋まつり」が、9月30日と10月1日だった。

(会 長) やはり「秋まつり」にはたくさん人が来るということですか。

(館 長) ずいぶん前に私が勤めていた頃、やはり9月10月に一番人が動いていた。セカンドスクールでも都会の子供たちが大勢来館し、石臼体験などを行った。途中コロナが流行し途絶えた部分もあるが、やはり9月10月が一番人が動くので、そこにメインの企画展を合わせたい。

(会 長) たしかにコロナとはいえ10月はかなり来ている。6月も増えているがコロナからの復活か？

(館 長) やはりセカンドスクールかと思う。今年の集計はこれからだが6月は毎日のように見えていた。

(会 長) SNSはこちらではどなたが担当していますか。

(事務局) みんなで行っている。

(委 員) ふるさと検定、年2回になったのですか。

(事務局) 5年度から2回になりました。

(委 員) では、1回目で初級合格の場合、2回目で上級になり、1回目で上級合格の場合は2回目でマイスターも可能ですね。

(会 長) 検定はいつといつですか。

(事務局) 8月と2月。

(会 長) 伝統文化分野として私の職場でも講座を開講しているが、近年移住者の方の参加が増えている。「食文化の会」6回講座があるが、今年は定員10名のうち半分が移住された方々。「覚えたい」「学びたい」という方々が増えている。ふるさと館には昔の体験の道具なども所蔵していますか。

(事務局) ある。例えば洗濯板も市民よりご寄贈いただいたものを使って体験。石臼も。

(会 長) どんなものを洗濯していますか。

(事務局) 学校で使う雑巾を持ってきてもらっている。

(会 長) ハンドルで絞る、昔の洗濯機もありますか。

(館 長) 欲しいが、それは所蔵がありません。

(進 行) 他にありますか。

(千野委員) 学校では、クラブ外部講師に来てもらえるのがありがたい。それをきっかけに子どもたちが休日に行ってみようと思ったり、2・3年生が社会学習で来たり、6年生の歴史学習でも。自分の教員時代にも来た。

子どもたちは土日いろんなお稽古事があり時間がないが、秋まつりなどは2日間まるまるやってくる。やはりそういうイベントは大事。ふるさと検定も学校で取り組んでいきたい。

③ ふるさと館入館料について

(事務局) 資料に基づき説明

(進 行) ぜひご意見を。

(委 員) 市の財政状況にもよると思うが、館の事業が継続できる収益は大事。

市民向け・市外向け二重の料金制度はどうか。施設の目的に沿った料金設定が良いと思う。

(事務局) 頂いた意見を参考にすすめていきたい。

7 次回開催日

11月21日(木) 14:00～

8 その他

(部 長) 全体を通していかがか。

(会 長) 昔の中学の看板はどこかにあるのか？また、今後閉校になる小学校の看板はどうなるのか？村史等郷土資料も学校にある。来年閉校に関する企画展もあるそうだが、各学校の展示品候補にどんなものがあるのかに加え、展示後、その資料はどうなるのか。

(館 長) 看板全部がふるさと館にあるわけではない。開催中の「70年の歩み」展では、来年の展示を見据えて、あえて学校関係の資料を外した。閉校の学校と打ち合わせをしていきたい。

(会 長) 学校の品々に注目している地域の人もある。欲しいなあとか。学校との連絡をお願いしたい。

(事務局) 承知しました。

9 閉 会

(部 長) それでは、これで第1回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。